



その先の感動へ

Known as "Ryutopia," the Niigata City Performing Arts Center was founded in October 1998 as the hub of performing arts, offering a varied range of music, theater, dance, and traditional Japanese Noh

plays from the heart of Niigata City. The performance halls boast superb facilities and expert theatrical stage staff, promising an exceptional artistic experience to visitors and users

alike. Ryutopia aims to be an art venue that meets the expectations of both audience and performers, while contributing to the appreciation of the performing arts.

vol. **75**
2024
Autumn/Winter



Life with Performing Arts

感動の余韻 ～お客さまアンケートより～

第4回新潟劇王 [2024.5.4-6]

緊張感のある会話劇やアクションなどジャンルが多彩で見ごたえがあった。講評が自分の感じたのと近い事をさすがにうまく言語化されていて気持ちよかった。(30代)



幕の内弁当のような贅沢なイベントでとても楽しめました。小学生の息子も集中力が持つよう良かったです。審査員の講評がとても楽しかった。脚本家の視点で見るシナリオ、演出評価という内容がとても興味深かったです。(40代)

東京交響楽団特別演奏会×映画音楽

ジョン・ウィリアムズ大作戦! [2024.5.26]

生の演奏の迫りに圧巻でした。笑いどころもありとても楽しめました。また機会があれば行きたいと思いました!コスプレも参加できるのは見ていてとても楽しめました!(20代)



最高でした!ファンファーレから始まる構成、最高すぎて涙が!これから特別な時間が始まる感が、映画好きにはたまらないですね。東京交響楽団のみなさんとの信頼感(ホーム感)がたまらないです。また来年もよろしくお願いします。(40代)

【能で味わう「源氏物語」その老】

春の能楽鑑賞会(宝生流) ～夕顔の君の恋～ [2024.5.12]

夕顔の面、衣装とてもきれいでした。亡き者となっても、うらみ事を言うでもなく、源氏との昔話を思っ舞っていることがいさぎよいとさえ思いました。布施無経の山本東次郎さんのお元気さにはおどろきます。(50代)



林望先生の解説が、的確ですばらしかった。半部とても深く味わえた。日本人のもののあわれの原点、象徴だと思ふ。余韻があり、すばらしい能だった。(60代)

Noism Company Niigata

20周年記念公演「Amomentof」 [2024.6.28-30]

人間ってこんなに自分の体を自由自在に動かせるものなんだと驚きました。20周年が一瞬であった。その演出表現はみなさんの身体能力にかかっていて始まりと終わりの姿勢の同一性に本当にとりはだちました。(30代)



Amomentof、最初はとても切ない思いで観ていたが最後は希望に満ちて観終わった。Noismの20年を全て知っているわけではないが、そこそこ長く観てきた者にとっては、感慨深く心が震える時間だった。このときこの場所であればならない作品に出会えた、という思い。(60代)

りゅーとぴあマガジン読者プレゼントコーナー

全てのプレゼント、抽選でペア2組4名様

1 Noism0/Noism1「円環」
金森 近藤良平
Triple Bill
公演日:12月13日(金)
19:00
会場:劇場



2 東京混声合唱団
アンサンブルによる
ヴァレンタインコンサート
公演日:2025年2月1日(土)
14:00
会場:コンサートホール



3 MONO第52回公演
(新作・タイトル未定)
公演日:2025年
2月22日(土)
13:00
会場:劇場



Googleフォームより、(1)ご希望の公演名(2)氏名(3)〒住所(4)電話番号(5)年齢(6)本誌を入手した場所(7)本誌へのご意見・感想を入力し送信してください。応募者の中から抽選し、当選者の発表はプレゼントの発送をもって代えさせていただきます。いただいた個人情報はプレゼントの発送のみに使用します。お申込み期限:11月20日(水)23:59まで



お問い合わせ 休館日:毎月第2・第4月曜日、年末年始(12/29~1/3) ※祝日の場合はその翌日

■館内案内・プレイガイド	TEL.025-224-5622(11:00~19:00)
■チケット専用ダイヤル	TEL.025-224-5521(11:00~19:00)
■施設利用お問い合わせ	TEL.025-224-5621(9:30~18:00)
■N-PAC mate友の会事務局	TEL.025-224-5631(平日 10:00~18:00)
■事業企画部	TEL.025-224-7000(平日 10:00~18:00)
■新潟県民会館	TEL.025-228-4481
■音楽文化会館	TEL.025-224-5811

「りゅーとぴあマガジン」はりゅーとぴあ・音楽文化会館・新潟県民会館の他にも下記にて無料配布しています。

新潟市役所、区役所、連絡所、公民館、コミュニティセンター、みなとぴあ、マリニピア日本海、ほんぼーと、新潟市美術館、新津美術館、朱鷺メッセ、新潟ふるさと村アビール館、新潟県立図書館、長岡リリックホール、魚沼市小出郷文化会館ほか県内・県外文化施設など「りゅーとぴあマガジン」に関するお問い合わせは事業企画部 広報営業課まで。次号vol.76は2025年4月発行予定です。

公益財団法人 新潟市芸術文化振興財団はりゅーとぴあ・音楽文化会館・新潟県民会館を一体的に管理しています。

編集後記

この春、りゅーとぴあが「JIA 25年賞」を受賞しました。「25年以上の長きにわたり、建築の存在価値を発揮し、美しく維持され、地域社会に貢献してきた建築」を顕彰するもので、スタッフ一同の励みになりました。これからも地域と共にあるために、「こども0円チケット」やInstagramの開設など、新しい取り組みを始めています。特に公式SNSは写真に注力中。ぜひ一度のぞいてみてください。(O)

ゴールドスポンサー **三菱ガス化学**

シルバースポンサー **azbil アズビル株式会社** **石本酒造株式会社**

開志専門職大学 **Keyano 株式会社** **カヤノ**

株式会社ソアンス **Show!** **STYLE**

りゅーとぴあホールスポンサー(敬称略 50音順)

Ryutopia Magazine 2024 Autumn/Winter vol.75 2024年10月1日発行

発行:りゅーとぴあ 新潟市民芸術文化会館 〒951-8132 新潟市中央区一番堀通町3番地2(白山公園内) 編集:りゅーとぴあ 新潟市民芸術文化会館
制作・デザイン:株式会社 U・STYLE 印刷:西蒲中央印刷株式会社

りゅーとぴあ
新潟市民芸術文化会館
https://www.ryutopia.or.jp



りゅーとびあコンサートホールで収録しました♪

～「5台ピアノの世界」CDができるまで～

2019年5月に初演され、5台のグランドピアノによる壮大なアンサンブルが会場を熱狂させた伝説的コンサート「5台ピアノの世界」。再々演のアンコールに応え、なんと全席に5台ピアノの特典CDというおみやげ付きで、10月にりゅーとびあへ帰ってきます!ここではコンサートホールで収録されたCD製作の軌跡をご紹介します。

詳しい製作エピソードは「スタッフのひとりごと」にて公開!



STEP 1

選曲・編曲

5台ピアノ用の作品や楽譜はほぼないため、作曲家に新曲や編曲依頼を行うところから企画がスタートします。



音楽合わせ

「5台ピアノ」と謳っているからには音楽合わせでも5台のピアノが必要ですが、過去公演の積み重ねと約半日の会場リハーサルのみで、いざ収録へ。プロは仕事はがやい!!

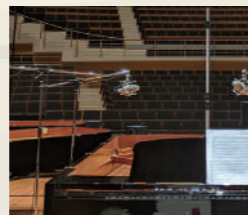
STEP 2

調律

CD収録には調律師も立ち会います。収録前、約1日半かけて5台のピアノを1人で調律。

機材の仕込み

ピアノまわりにはマイクがずらり。楽譜をめくるわずかな音ですら拾ってしまうほどの高性能ぶりに、「譜めくり※」が手に汗を握りました。
※演奏者に代わって楽譜をめくる人のこと。



STEP 3

収録&確認

何度も録っては確認→録り直し→確認→録り直し…

1曲の録音が終わったら全員でモニター室に移動。音を細かく確認し、録り直すべき部分があれば再びホールで録音。



ちょっとひと息

収録中にはこんな一コマも。演奏者の中川賢一さんと田村緑さんのお誕生日をサプライズでお祝い!みんなでケーキを食べました♪



〈番外〉立ち会い編集

8月某日、都内のスタジオにて。アーティスト、ディレクターが一同に集まり協議しながら編集を進めます。



このあともジャケットやブックレットの作成など、まだまだ作業は続きます。

Information 1: 公演情報

5台ピアノの世界

【日時】10月19日(土)14:00

【会場】コンサートホール

【出演】ピアノ・ツィルクス

【料金:全席特典CD付き】

S 5,000円 A 4,000円

B 3,000円 U25(全席) 2,000円



Information 2: CD情報

「The World of 5 Pianos」

Now Printing

収録曲／

加藤昌則:Five Kings

ホルスト(駒井一輝編):木星

ガーシュイン(駒井一輝編):ラプソディ・イン・ブルー

ラヴェル(駒井一輝編):ボレロ

ムソルグスキー(駒井一輝編):組曲「展覧会の絵」

発売元/コジマ録音(ALM Records)

『百物語』が初めての方にも 楽しんでいただける2作品。 笑いと怖さの絶妙なバランスを お楽しみください。

1992年に始まった俳優・白石加代子さんの朗読劇『百物語』。2014年、99話目の『天守物語』で幕を閉じたが、観客からの熱烈な要望もあり、16年からアンコール公演がスタート。今年の第五弾でついにファイナルを迎える。『百物語』と歩み続けてきた白石さんに、アンコール公演ファイナルについての思いを伺った。

白石加代子 SHIRAISHI Kayoko

1941年、東京都出身。67年に早稲田小劇場(現SCOT)へ入団後、鈴木志志氏演出の「劇的なものをめぐってII」「トロイアの女」などで世界80都市を巡演し、ピーター・ブルックに「火を噴くドラゴン」と称賛される。89年にSCOT退団後は、蛭川幸雄氏演出作品に多く出演するほか、映画やTVなどでも幅広く活躍。92年からスタートした鴨下信一氏演出による『百物語』の公演はライフワークとなり、2014年『天守物語』で99話目を語り終えた後、16年からアンコール公演を続け、今年第五弾でファイナルとなる。2023年より演劇界からは初となる日本芸術院会員。現在、出演したNetflix『忍びの家 House of Ninjas』が配信中。

取材・文/本間千英子

— アンコール公演では、本公演とは違う部分もあったのでしょうか。

演出の鴨下信一さんの意向で動きを変えたことはありました。でも原作を大事にしているので、言葉を全く変えることはないです。第三弾以降は、お客さまが楽しくて、笑いが多い作品を好まれるようになったので、私からそういう演出をお願いした部分もあります。私の性格にもその方が合っているので(笑)。

— 第五弾は「干魚と漏電」「遠い記憶」。

どちらも人気の演出です。
『干魚と漏電』では、ローラ・アシュレイのロリータ風ふりふり衣装を着たへんてこりんおばあちゃん役の私が、「電気代が高すぎる」謎を追う話。この衣装は私の希望というより、周りのスタッフが「これを白石さんに着せたら面白い」って(笑)。とても笑いの多い物語です。『遠い記憶』は主人公の男性として朗読しますが、ラストにきれいでものすごく怖い女が登場します。衣装は泥大島の着物ですが、今回は

ちょっと華のある大島にしてみようかと考えています。

— 体力のいる舞台を何十年も続けられる秘訣は。

私の仕事をサポートしてくれる夫は、早稲田小劇場時代に一緒だった人。早稲田小劇場は稽古が本当にきつかったので、終わってから劇団員同士で全身を踏み合っんですよ。うつ伏せの人をもう一人が足でぐぐぐと踏んでいく。そうすると全身がほぐれるんですね。それを今でも、舞台に出る前、夫から必ずやってもらっています。舞台命ですから、彼の体調が悪くても絶対、踏んでもらうの(笑)。血の巡りが良くなって、やっと体が起きる感じ。いつもの大事な儀式です。

— りゅーとびあで演じられることも多いですね。

素晴らしい劇場です。舞台に立つと、客席がそそり立って見えて、最初は「怖くていやだなあ」と思いました。ところが声を出したとたん、客席に

ぶつかって戻って来る、それがものすごく快感なんです。その日の自分の調子も分かりますね。「りゅーとびあで上演すると芝居の質が上がる」と他の舞台関係者もみんな言っていますよ。

— 今後、やりたい舞台はありますか。

今年、風間杜夫さん、柴田理恵さん、中山優馬さんとタッグを組んだリーディング劇『大誘拐』の公演をしたのですが、共演のみなさんがとても達者で、舞台でも笑っちゃいそうですね(笑)。あの経験が忘れられないので、たくさんの方たちとのリーディング作品を作っていけたらと思っています。80を過ぎたとはいえ、後ずさりや足踏みはしたくない。新しい方向へと、自分自身の感覚を広げていきたいですね。私にとって稽古期間の長い舞台は、役の心情を掘り下げたり、イメージを膨らませたりしやすい。お仕事と体力がある限り、続けていきたいです。

— 新潟のお客さまへメッセージをお願いします。

新潟のお客さまは親戚みたいなもの。特別なんです。他の地域と違い、何か面白いことをするといっせいに笑いが起きる。演じていて気分が高揚します。今回の2演目は、『百物語』を知らない方にも楽しんでいただける作品。『百物語』が初めての方も、もちろんこれまで応援してくださった方も、ぜひとも劇場に足をお運びいただき、『百物語』のファイナルをお見届けください。



Information

白石加代子「百物語」アンコール公演 第五弾

【日時】11月18日(月)18:30 【会場】劇場

【構成・演出】鴨下信一 【出演】白石加代子

【料金】全席指定 4,500円 U25 2,000円

■友の会フレンズ限定ペアチケット 全席指定 7,000円

2024 AUTUMN/WINTER RYUTOPIA NAVIGATION

2024年度、下半期のおすすめ公演をピックアップ。
公演情報の詳細は、本誌折込のりゅーとびあ
カレンダーをご覧ください。

大迫力! ムソルグスキー「展覧会の絵」 ショパン国際コンクール入賞! 小林愛実が弾くラヴェル

オーケストラ曲の中で不動の人気を誇る「展覧会の絵」!今回は俊英ウルバンスキの指揮でお届けします。有名冒頭のトランペットソロ、個性に富んだ数々の小品、壮大なフィナーレ、皆様お馴染みのメロディを大迫力の演奏でお楽しみください。ラヴェルのピアノ協奏曲では、ショパン国際コンクールで第4位に輝いた小林愛実がソロを演奏。印象的なムチの一打から始まる煌びやかな音楽をお聴き逃しなく!



東京交響楽団 第139回新潟定期演奏会
■10.6(日)17:00開演 ■コンサートホール

CD発売記念コンサート! 宇宙のように壮大で煌びやかな音世界をあなたに

2019年・2022年開催時に完売となった大人気企画「5台ピアノの世界」が再び!3度目となる今回はなんと全席特典CD付。りゅーとびあで4日間にわたって収録しました。演奏曲は第1回公演で披露した大作「展覧会の絵」をメインに据え、今回新たに「月の光」と「ジョン・ウィリアムズ・メドレー」の編曲を依頼。ピアノ・ツィルクスのメンバーが奏でる一条乱れぬアンサンブルは必聴です。「ピアノの音に埋もれない……」そんな願望をお持ちのあなたにぴったりのコンサート。



りゅーとびあ室内楽シリーズNo.54 5台ピアノの世界
■10.19(土)14:00開演 ■コンサートホール

はまの かすみ 専属オルガニスト濱野芳純がクリスマスに贈る 荘厳なオルガンと清らかな歌声のハーモニー

クリスマスの素敵なお夜をパイプオルガンとともに。前半は新潟市の準フランチャイズオーケストラ・東京交響楽団との共演を目的に結成された「いがた東響コーラス」が出演。オルガンの調べにのせて歌うパッサカリアなどのクリスマスソングが、聖なる夜を彩ります。後半はオルガンの響きに浸るソロ・プログラム。まるでヨーロッパの教会にいるかのような、特別な時間をお届けします。



りゅーとびあオルガン・クリスマスコンサート2024
■12.20(金)19:00開演 ■コンサートホール

日本を代表する三味線奏者とチェリストによる日本発、 世界初のアコースティックセッションツアー

幼少より数々の津軽三味線大会で優勝し、純邦楽界で高い評価を得るだけでなく、ジャズやロック等ジャンルを超えたセッションでも注目を集める上妻宏光。対する宮田大は日本人として初めてロストロポーヴィチ国際コンクールで優勝。日本を代表するチェリストとして国際的な活動を繰り広げています。二人の出合いがどんな化学反応を起こすのか。最高峰のセッションでぜひ体感してください。



上妻宏光 宮田大 Duo Concert Tour 一月食一
■12.21(土)16:00開演 ■劇場

オペラの魅力と楽しさがギュッとつまった舞台。 黒ねこのルドルフと一緒に新しい世界を冒険しよう

いつの時代もたくさんの人々に愛されてきた児童文学の名作が、4人の歌役者とピアノの生演奏によるオペラ作品になりました。マイクを使用しなくてもホールいっぱいに響く生の歌声と、日本語のセリフで物語がしっかりと伝わってくるのがオペラシアターこんにゃく座の魅力です。



オペラシアターこんにゃく座 オペラ「ルドルフとイッパイアッテナ」
■11.16(土)14:00開演 ■劇場

最強5人組! 三浦一馬五重奏団がやってくる! コンチネンタルタンゴ&ピアソラ

2018年以来2回目となる「三浦一馬五重奏団(キンテート)」。世界的名手の地位を確立した三浦一馬の情熱的な音楽をお楽しみください。三浦一馬を支えるのは大人気ヴァイオリニスト・石田泰尚をはじめとする一流奏者たち。ピアソラが追い求めた究極の楽器編成「キンテート」のサウンドで、傑作タンゴの数々を演奏します。プログラムはピアソラ作品に加え、「コンチネンタルタンゴ」の名曲も。タンゴの魅力たっぷりでお贈りいたします。



りゅーとびあ室内楽シリーズNo.55 三浦一馬五重奏団(キンテート)
■11.30(土)15:00開演 ■コンサートホール

愛を歌おう! クラシックから昭和歌謡まで、 心に沁みる名曲の数々

2年前の1コイン・コンサートで「あずさ2号」などの名曲を披露し会場を沸かせた東京混声合唱団アンサンブルが再び登場!愛をテーマに、心に響く名曲の数々を歌います。「アヴェ・ヴェルム・コルプス」などの定番クラシック曲から、「ともしび」などの世界の民謡、そして定番「あずさ2号」「瀬戸の花嫁」といった昭和歌謡まで、コンサートホールを美声で包み込みます。今年のヴァレンタインは東混で決まり!



りゅーとびあ歌の花束シリーズVol.30
東京混声合唱団アンサンブルによるヴァレンタインコンサート
■2025.2.1(土)14:00開演 ■コンサートホール

歴史を紐解きながら送る オルガンの名曲プログラム!

りゅーとびあコンサートホールにそびえる大きなパイプオルガン。はじまりはもっと小さな楽器でした。第5代専属オルガニスト濱野芳純が、キリスト教会とともに発展したオルガンの歴史をご紹介します。各時代の魅力的なプログラムをお届けします。全身に降り注ぐオルガンの多彩な音色をお楽しみください!



りゅーとびあ専属オルガニスト 濱野芳純 オルガン・リサイタル
■2025.3.15(土)14:00開演 ■コンサートホール

私を形成したロマン派の音楽。 渾身のショパンをお届けします

第5期登録アーティストとして2年間、小学校を訪問してきた小林浩子。訪問先では子どもたちの反応を瞬時に察知し、親密な音楽空間をつくり上げてきました。活動の集大成となるリサイタルでは、バロックからロマン派までの本人選りすぐりの小品と、小林がこだわり続けてきたショパンの作品から、ピアノ協奏曲第1番をピアニストの白石光隆を迎えて2台ピアノでお贈りします。揺れ動く繊細なピアノの響きをご堪能ください。



音楽アウトリーチ事業第5期登録アーティスト 小林浩子 ピアノ・リサイタル
■12.7(土)14:00開演 ■スタジオA

こだわりのブラームス。 濃密な音楽の時間をあなたに

登録アーティスト2年間の任期中、デュオとしてアンサンブルの質にこだわってきたDuo KaKao。今回のリサイタルでは、チェリストの西谷牧人をゲストに迎え、前半にはベートーヴェンの三重奏曲「街の歌」を、後半にはブラームスの三重奏曲をお届けします。小学校訪問でも欠かさずに演奏してきたブラームス。その深みをデュオならではの意思疎通をもって最大限に表現します。



音楽アウトリーチ事業第5期登録アーティスト Duo KaKao リサイタル
■12.8(日)14:00開演 ■スタジオA

春に「第九」もいいじゃない! 大巨匠・秋山和慶指揮のベートーヴェン「合唱付き」

年末が定番の「第九」ですが、名曲はいつ聴いてもよいものです。今回は「春の《第九》」と銘打ち、指揮者生活60周年を迎えたレジェンド・秋山和慶の指揮でお贈りします。妻屋秀和を筆頭に4名の声楽ソリストも豪華な布陣。春の新たな芽吹きに心躍らせ紡がれる、壮大な「歓喜の歌」をお楽しみください。2024年度シーズンの最後を飾るスペシャル公演です。



東京交響楽団 第140回新潟定期演奏会
■2025.3.23(日)17:00開演 ■コンサートホール

希望あふれる春の訪れ ジュニアたちの輝く笑顔に会いに行こう

邦楽合奏団、合唱団、オーケストラ教室からなる、新潟市ジュニア音楽教室による毎春恒例の合同コンサート。日々の練習を重ねることで生まれる、各教室それぞれの魅力がたっぷり詰まったパフォーマンスをお届けします。そしてコロナ禍を経て昨年度から再開された三教室の合同演奏は、春にふさわしい「花」と新潟市民歌「砂浜で」の2曲。本番に向けて限られた練習時間の中でお互いに高め合った演奏をぜひお聴きください。



新潟市ジュニア音楽教室 第21回スプリングコンサート
■2025.3.30(日)14:00開演 ■コンサートホール

光源氏と六条御息所の愛憎を描いた人気曲「葵上」を、ドラマチックな特別演出で上演!

大河ドラマでも話題の「源氏物語」をテーマに能をお楽しみいただきます。秋は、光源氏と高貴な恋人・六条御息所の愛憎を描いた人気曲「葵上」を上演。しかも、今回はよりドラマチックな「古式」の特別演出です。解説には人気作家の林望さんが登場! 華麗な平安の恋物語と幽玄な能の世界をご堪能ください。



【能で味わう「源氏物語」その式】
秋の能楽鑑賞会(観世流)～六条御息所の恋～
■10.14(月・祝)13:00開演 ■能楽堂

聴覚障害・視覚障害を問わず、どなたでも楽しめる。ありふれた家族の30年間を描いたハートフル・ストーリー

ある家族(両親と息子)の30年間を描いた物語を、舞台手話通訳、字幕、音声ガイドの観劇サポートをフルで導入した作品。上演前には事前舞台説明を、終演後にはアフタートークを行い、“みんなで一緒に楽しめる”観劇体験をお届けします。



※介助者1名まで無料。
※車椅子席および介助者同行の方のチケット・ワークショップのお申込みは「新潟県障害者芸術文化活動支援センター」まで。

同日15:30～18:00
観劇サポートワークショップを開催!
(要事前申込・参加費無料)

★新潟県障害者芸術文化活動支援センター
TEL:025-530-7264(平日8:30～17:30)
Email:info@niigata-artbrut.net

舞台手話通訳・字幕・音声ガイドつき演劇「メゾン」
■11.15(金)19:00開演 ■スタジオA

作・演出 岩松了新作舞台!! 仲野太賀×二階堂ふみ《諍い》と《恋》の物語

ひと里離れた峠にある古い一軒家を舞台に、そこに暮らす3人の家族と、その家を訪れた若者との出会いに端を発する緊張感あふれる人間ドラマをお届けします。どうぞご期待ください!



M&Oplaysプロデュース『峠の我が家』
■11.21(木)14:00開演/19:00開演 ■劇場 ※全席完売

現実と虚構が入り混じる、横山拓也書き下ろしのファンタジックなラブコメディ!

手紙の中の2人、現実の2人、創作される物語の2人とその作り手となった2人…それぞれの世界を並行して描きながら、やがて世界がつながり、現実と虚構を超えて展開する。江口のりこ、松岡茉優、千葉雄大、松尾諭ほかが出演する。



バルコ・プロデュース2024「ワタシたちはモノガタリ」
■10.18(金)18:00開演・10.19(土)12:00開演/17:00開演 ■劇場

いよいよ見納め! これが最後の百物語

1992年に始まり、2014年に全99話を語り終えた白石加代子の百物語。人気演目を再演するアンコール公演もこの第五弾をもってファイナルとなります。ラストを飾るのは、全99話の中でも超人気演目 阿刀田高『干魚と漏電』、高橋克彦『遠い記憶』。これが最後の百物語。どうぞお見逃しなく。



白石加代子「百物語」アンコール公演 第五弾
■11.18(月)18:30開演 ■劇場

「黒塚」(半能)を1コインで鑑賞チャレンジ!

500円でお能を鑑賞体験できるともお得な企画。「能に興味はあるけど…どれを観れば良いのかわからない」と思っている方でも楽しめる「黒塚」を半能(演目の後半のみ上演)という上演形態でご覧いただけます。どうぞ気軽に能をお楽しみください。



のぞいてみよう能の世界「黒塚」(金春流)
■12.1(日)15:15開演 ■能楽堂

踏み鳴らす、大地の鼓動—— 伝統と進化が融合した鼓童の最新作!

2024年冬にお届けする鼓童の最新作は、韓国太鼓(チャンゴ)演奏家のチェ・ジェ Chol(崔在哲)氏をゲストに迎えた特別共演作品。「身体性、音楽性、精神性」この三本の柱を足元から見詰め、新しくも奥深い、そして鼓童らしさを兼ね備えた舞台をお楽しみください。



鼓童十二月特別公演「山踏み」
■12.1(日)15:00開演 ■新潟県民会館大ホール

時代を超えて世界中で愛され続けるクリスマスの贈り物

伝説のプリマ、ニーナ・アナニアシヴィリが20年の時をかけたバレエ団。充実期を迎えた今、ついに12年ぶりの再来日!今回上演するのは、ジョージアの首都トビリシを舞台にしたジョージア国立バレエのオリジナル版。衣裳や舞台装置など随所に感じられるジョージアの趣と、ロマンティックで色鮮やかなファンタジーの世界を、ぜひ劇場でご体感ください。



ニーナ・アナニアシヴィリ芸術監督就任20周年記念
ジョージア国立バレエ「くるみ割り人形」(全2幕)
■12.15(日)16:00開演 ■新潟県民会館大ホール

コメディ風味の会話劇で人気を博す京都の劇団「MONO」が新潟初公演!

京都を拠点として活動する劇団「MONO」が新潟初公演!張り詰めた状況の中に身を置く普通の人々の佇まいや認識のズレから生じる可笑しさや哀しさを軽快なテンポで見せる会話劇で評価を得ています。2009年に文化庁芸術祭優秀賞を、2017年に大阪文化祭賞優秀賞を受賞。2023年、関西えんげき大賞最優秀作品賞など数々の賞を受賞する実力派劇団の新作公演をどうぞお見逃しなく!



MONO第52回公演(新作・タイトル未定)
■2025.2.22(土)13:00開演 ■劇場

大好評の手話狂言と、新潟では初となる手話能を上演します!

聞こえる人も聞こえない人も一緒に、能や狂言を楽しんでいただくため、手話付きの能と狂言の鑑賞会を開催します。国内外の公演で高い評価を得ている日本ろう者劇団の手話狂言と、能楽師自身の手話による能の上演に取り組んでいる喜多流の手話能「土蜘蛛」を上演します。手話という“見る言葉”の力を借りて、伝統芸能の魅力をより広くお伝えします。



手話で楽しむ 能狂言鑑賞会 ～聞こえる人も、聞こえない人も～
■12.8(日)13:00開演 ■能楽堂

元Noismメンバーの池ヶ谷奏が新潟のダンサーと創作する作品をはじめ、3作品を上演

「KYOTO CHOREOGRAPHY AWARD」の受賞者、池ヶ谷奏と大森瑠子による作品と、2000年代に数々の名作を残した砂連尾理+寺田みさこ(じゃれみさ)によるリバイバル作品を上演。公演前プレトークあり。三者三様のコンテンポラリーダンスをトークと合わせてお楽しみください。

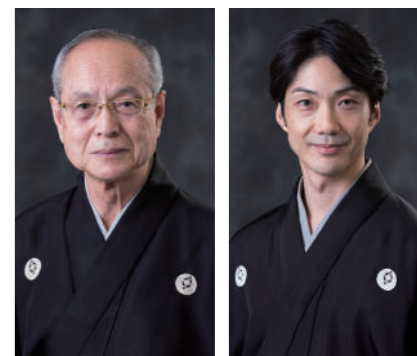


主催:NPO法人ジャパン・コンテンポラリーダンス・ネットワーク(JCDN)
共催:公益財団法人新潟市芸術文化振興財団

Choreographers 2024
次代の振付家によるダンス作品上演&トーク 新潟公演
■2025.2.7(金)19:00開演・8(土)15:00開演 ■スタジオB

野村万作、萬斎による「笑いの芸術・狂言」をたっぷりとお楽しみください!

人間国宝で文化功労者でもある野村万作と、映像や邦楽などでも多彩に活躍する野村萬斎親子による大人気の古典狂言シリーズ。毎年完売必至の公演を今年もりゅーとびあで開催します。「笑いの芸術」とも言われる狂言で、笑いの感性を大いに刺激してください。大人気の公演をどうぞお見逃しなく!



野村万作 野村萬斎

りゅーとびあ古典狂言シリーズ「野村万作・萬斎狂言公演」
■2025.3.1(土)13:00開演/17:00開演 ■能楽堂

偏愛、 Noism

ファンがNoism愛を語るコーナー。今回は新潟文化シーンの重鎮、シネ・ウインド代表の齋藤さん。話の始まりはNoism立ち上げ前にまでさかのぼり…

vol.15

齋藤正行さん

新潟・市民映画館 シネ・ウインド代表。安吾の会 世話人代表、舞踊家 井関佐和子を応援する会「さわさわ会」会長なども務める。

安吾生誕120年に
合わせて公演を
お願いしたい!



どこか似ている? 共感とともに金森穰、Noismを見守る

Noismが生まれて よかった

Noismができる前からずっとりゅーとびあを見守っているけど、金森(穰)さんが来て、りゅーとびあはようやくすべての部門で作品を生み出せる状況になった。正直彼のことはよく知らなかったけど(笑)ホントよかったなって思ったよね。金森さんは「劇場文化100年構想」を掲げているけど、俺もシネ・ウインドを作る時に「50年続ける」って言ってきたし、どこか重なるところもあるのかもね。



「さわさわ会」 会長です

2013年に柳都会のゲストに呼んでもらったんだけど、当時金森さんが踊らなくなったの。「じゃあ誰をトップにするの?」って聞いたら(井関)佐和子だって。じゃあ佐和子さんを応援しようぜって。それで、さわさわ会ができたの。佐和子さんの魅力? きれいだわ、踊りが。その瞬間の美しさに呼吸を忘れるよね。舞踊って文字とか言葉ができる以前のことを思い出させてくれる芸術だなんて思うよ。

さわさわ会は結成から10年!



「夏の名残のバラ」 photo: Kishin Shinoyama (2019)

これからの Noism

俺、評価してもらいたくないんさ。金森さんもそうじゃない? 鼓童もできる前から知ってるけど、こうやって繋がったNoismと鼓童とシネ・ウインドがある新潟に50年後、外国の女の子が「このあたりですね」なんて調べて来てくれたらそれでよくて。今日生きてる人の評価なんてどうでもいいんだよ。…あ、お願いしたいことがある! 2026年の坂口安吾生誕120年に合わせて安吾の原作で公演を! 実現したらうれしいね〜。

取材・文:霜鳥 彩(ジョイフルタウン)

俺の好きな

Noism作品ベスト3

群舞で同じ動きをとことんやるような作品が好きかな。鼓童とNoismの共演はうれしかったね

1位 Noism×鼓童『鬼』 初演:2022年

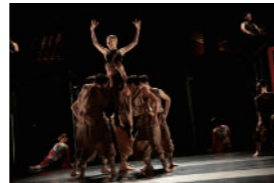


photo: Kishin Shinoyama

「立ち上げ前から知っている鼓童とNoismのジョイントは至福だった」

2位 Noism2 特別公演2018 「ゾーン」 初演:2018年



photo: Noriki Matsuzaki

「真夏の屋外で踊る作品だったんだけど、過酷でよかったねえ…フフフ」

3位 『NINA-物質化する生け贄』 初演:2005年



photo: Kishin Shinoyama

「初期では好きな作品。極限までやるっていうあの感じがたまらない」

りゅーとびあ等をご利用いただく公演、 県内の公立文化施設の自主事業をご紹介します!

各公演記載のマークは下記のとおりです。
チケット取り扱い:[A]りゅーとびあ2Fインフォメーション [B]新潟県民会館 [C]新潟伊勢丹 [D]ヤマハミュージックリテイリング新潟 [E]コンチェルト [F]インフォメーションセンター えん(新潟日報メディアシップ1階)

本ページはりゅーとびあ利用団体等の広告ページです。広告のお問い合わせはりゅーとびあ広報営業課まで ▶ info@ryutopia.or.jp

10/14 池辺晋一郎 音楽の不思議 coba×群馬交響楽団メンバー (月・祝) ~秋 古葉が舞う季節~

新潟ゆかりのアコーディオニスト「coba」と10人編成の群馬交響楽団メンバーによるコラボレーション。アルフォーレのパートナーシップ・アーティスト、池辺晋一郎氏の軽妙洒脱なトークとともに、ここでしか観られない共演をお楽しみください。

10月14日(月・祝) 14:30開演(14:00開場)
柏崎市文化会館アルフォーレ 大ホール
全席指定¥4,500 高校生以下¥1,500
※未就学児入場不可

Program
上を向いて歩こう、池辺晋一郎編曲/ビートルズ・メドレー、ピアソラ/リベルタンゴ ほか
チケット取り扱い:柏崎市文化会館アルフォーレ(インターネット・電話・窓口)



主催・お問い合わせ 柏崎市文化会館アルフォーレ TEL 0257-21-0010

10/19 「いびしない愛」 (土)

第26回劇作家協会新人戯曲賞を受賞した竹田モモコの傑作戯曲を演劇界の鬼才・マキノノゾミの演出で上演決定! 生きることの愛おしさを伝える作品に実力派キャスト・スタッフで挑みます。

10月19日(土) 14:00開演(13:30開場)
長岡リリックホール シアター
全席指定¥3,000 U-25¥1,000
※未就学児入場不可

■作 竹田モモコ
■演出 マキノノゾミ
■出演 南沢奈央・東風万智子・佐藤祐基・内藤裕志・神戸 浩



チケット取り扱い:
長岡リリックホール、
長岡市立劇場
(インターネット・電話・窓口)

主催・お問い合わせ (公財)長岡市芸術文化振興財団 TEL 0258-29-7715

10/26 「ジブリの思い出がいっぱい」 (土) オケストラによるドリームコンサート 2024

誰もが知っているジブリの名曲の数々を、透き通ったピアノな歌声のハーモニーとオーケストラでたっぷりお届けいたします♪

10月26日(土) 14:00開演(13:15開場)
りゅーとびあ 劇場
全席指定¥5,000
こども¥3,000
(4歳以上小学生まで)

■出演:ザ ブリーズアドベンチャーズ(歌)
塚田隆雄(指揮)
ドリームチェンバーオーケストラ(演奏)

チケット取り扱い:[A]、ローチケ、
チケットぴあ、イープラス



主催・お問い合わせ サモンプロモーション TEL 06-6225-2237

11/8 橋本涼平 マリンバリサイタル (金)

マリンバのために書かれたオリジナル作品をメインとしたプログラム。今回の公演のために委嘱した作品の初演にもご期待ください。

11月8日(金) 19:00開演(18:30開場)
りゅーとびあ スタジオA
全席自由 一般 ¥2,500 大学生 ¥1,500
小中高生 ¥500

※当日券は各席500円増し ※未就学児入場不可
■出演:橋本 涼平(マリンバ) 岩波 秀佳(ピアノ)

Program
ノートン:ノーヴェンバー・イブニング
二橋 潤一:マリンバとピアノのための「5つの精霊幻舞」
小助川謙二:委嘱新作 ほか
チケット取り扱い:[A][E] チケットぴあ https://t.pia.jp/[Pコード:272969]
teket(電子チケット)https://teket.jp/10324/35694 ▶



ご予約・お問い合わせ:橋本 080-6517-4239 ryohai.hashimoto.m06@gmail.com

12/1 冬の午後のコンサート vol.10 (日) ~祝・10回、フルート万歳!~

12月1日(日)
14:00開演(13:30開場)
りゅーとびあ スタジオA
一般¥3,000
高校生以下¥1,500
※未就学児入場不可

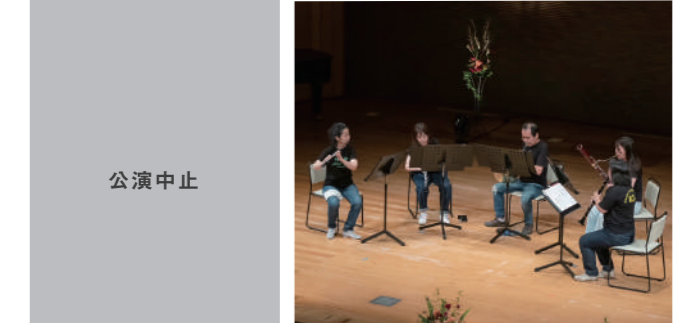
■出演:明間奈々江、市橋靖子、平松文子、本間千鶴子(フルート)
熊木麻子(ピアノ)

Program
J.S.バッハ/ トッカータとフーガ 二短調 BWV565
J.J.クヴァンツ/ 2本のフルートのための6つの二重奏 作品2より3番 口短調 ほか
チケット取り扱い:[A][E]



主催・お問い合わせ 冬の午後のコンサート事務局 TEL 090-1502-0581

12/27 ARS NOVA 木管五重奏団 vol.2 (金) ~木管五重奏の音色に包まれ、心から愉しむ~



主催・お問合せ ARS NOVA 木管五重奏団 事務局 TEL 090-4397-8607

似たところがあるのかもね



柳都会vol.8 より photo: Ryu Endo

Next Performance

Noism0 / Noism1「円環」
金森穰 近藤良平 Triple Bill
12.13(金)19:00・14(土)17:00・15(日)15:00 劇場 >>> 詳しくは
りゅーとびあカレンダーへ

私たちはNoismの活動を応援しています



活動支援会員募集中

Noismではレジデンシャル活動を支援して下さる企業・個人スポンサーを募集しております。詳しくは <https://noism.jp/support/>



日本建築家協会 「JIA 25年賞」を 受賞!

Received the "JIA 25 Year Award"
from the Japan Institute of Architects!

この度、りゅーとぴあ 新潟市民芸術文化会館は、日本建築家協会「JIA 25年賞」を受賞しました。JIA 25年賞は「25年以上の長きにわたり美しく維持され、地域社会に貢献してきた建築」に与えられるもの。審査委員には「建物と活動が一体となって人を育てている」と高く評価されました。



撮影:藤塚光政



第4代専属オルガニスト
石丸由佳さんからお祝いの言葉

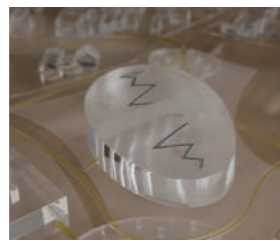
受賞おめでとうございます。私が中学生の時に完成したりゅーとぴあ。ここに鎮座するパイプオルガンが私の人生を変え、新潟から東京、ヨーロッパへと送り出し、再び専属オルガニストとして迎えてくれました。4年間の任期を終えた今も、これからも変わることなく原点であり続けてくれる建物です。

りゅーとぴあが“地域社会に貢献してきた建築”として表彰されました。

受賞の経緯 Background of the Award



りゅーとぴあの建築は1993年、公開コンペで長谷川逸子・建築設計工房の案が選ばれ、1998年に竣工しました。コンサートホール、劇場、能楽堂の3つの専門ホールが集う稀有な存在(おそらく全国唯一?)として注目を集め、以来、県内外の関係者やたくさんの方のアーティストらと連携しながら運営を続けてきました。「JIA 25年賞」受賞にあたっては審査委員の一行が来館し、りゅーとぴあ職員にも綿密な聞き取り調査を行いました。



【建築家】長谷川逸子さん
建設の際は様々な市民と対話し、人材育成のワークショップも行いました

表彰式の様子 Awards Ceremony



全国から応募された26作品の中から賞に輝いたりゅーとぴあ。今年6/14(金)建築家会館(渋谷区)で行われた表彰式に、長谷川逸子さんと施設担当スタッフが出席してきました。会場には東京国際フォーラムやアクロス福岡など錚々たる受賞者が並びます。当館は、審査委員長から「この建築が地域の人々に愛され、地域の誇りとして永く存続し利用されることを期待します」との言葉をいただきました。



▲表彰式が行われた建築家会館



【施設担当スタッフ】石川さん
日々の仕事の積み重ねが評価につながりました。今後の励みになります

かすみん やっぴん!

—オルガンに恋した若者—

りゅーとぴあ専属オルガニストに就任し、新潟生活を送る濱野芳純さんこと「かすみん」。プロのオルガニストがどんな日々を過ごしているのか? 謎めいた日常を写真とともにお届けします!!



りゅーとぴあ第5代専属オルガニスト
濱野芳純 HAMANO Kasumi
京都府出身。数々のコンクールにて受賞歴を持つ若手オルガニスト。2024年1月に新潟市へ移住し、専属オルガニストの引継ぎの傍ら、さまざまなことに挑戦。2024年4月より、りゅーとぴあ第5代専属オルガニストとして活動を始める。

お花見ランチ



まだ肌寒い4月、スタッフとお花見ランチ。りゅーとぴあ前の桜並木の下で。

初リサイタル



7月、就任後初のリサイタル。照明にもこだわりました。



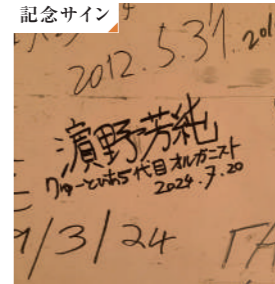
スクリーンには演奏台を映して。ペダル演奏の映像は大好評!

ヒスイ採り



日本海でヒスイ採りに挑戦! ものすごく真剣に探しています。

記念サイン



初リサイタル記念に、コンサートホールの壁にサインしました。

コスプレ?



8月、オルガン・サマーデイズのコンサートにて。オルガン城の王子のイメージです。

Concert Report

東京交響楽団特別演奏会

映画音楽「ジョン・ウィリアムズ大作戦!」

2024年5月26日(日)、コンサートホールにはお客様の笑顔があふれていました。

この日行われたのは、準フランチャイズオーケストラ・東京交響楽団による特別演奏会「ジョン・ウィリアムズ大作戦!」。あまたの映画音楽を手掛けた作曲家ジョン・ウィリアムズの名曲コンサートを、より一層お楽しみいただけるよう「映画コスプレ優先席」をご用意すると共に、りゅーとぴあスタッフが全力でコスプレにチャレンジしてお客様をお出迎え(東京交響楽団の事務局も参加しました!)。客席から一歩外へ出れば、あちこちで写真を撮って笑い合う、すてきな光景が見られました。

この日、なにより嬉しかったのは、お客様から「ありがとう」の言葉と共に向けられたたくさんの明るい笑顔。コロナ禍の影響を脱してようやく音楽を心から楽しめる日々が戻ってきたのだと、そう実感した1日でした。

私たちの仕事は、音楽の喜びをひとつの空間で共有する場所づくり。そのことを改めて思い出させてくださったすべてのお客様に、心からの感謝を。



お客様のコスプレや公演の様子は、「スタッフのひとりごと」にて紹介中! ▶

